

令和7年度 町政座談会

報告書



邑南町

○ はじめに

この報告書は、本年度の行政活動について皆様方にご理解をいただくとともに、数多く出されたご意見やご要望等を紹介し、今後も皆様から貴重なご意見をいただくための参考資料として作成しております。

○ 注意点

最初の要約は議事録から生成 AI を活用して作成しています。

座談会での発言者や発言に含まれる氏名は記載しておりません。

○ 各会場の参加状況

月	日	曜日	場所	参加人数
10	1	水	口羽公民館	18
10	2	木	阿須那公民館	19
10	7	火	布施公民館	12
10	8	水	高原公民館	17
10	9	木	出羽公民館	19
10	17	金	田所公民館	33
10	20	月	市木公民館	17
10	23	木	矢上公民館	28
10	24	金	井原公民館	16
10	27	月	中野公民館	22
10	30	木	日貫公民館	29
10	31	金	日和公民館	19
			計	249

○ 別添資料

- ・ 当日配布資料
- ・ 各会場議事録

令和 7 年度 町政座談会 議事録要約

※本資料は、町が主催者として各会場での説明内容および町民の皆さんから寄せられた主な意見・質問、それに対する町の考え方を整理し、報告として取りまとめたものです。

要約に際しては、各会場の議事録から ChatGPT を使って作成しています。

【共通事項】

※以下の 1 ～ 8 は、全会場共通の説明内容として整理しています。

1 開催趣旨

町民の皆さんから直接意見を伺い、今後の町政運営や施策の検討に反映させることを目的として、町内各地区において町政座談会を開催した。

2 町長あいさつ・基本姿勢

人口減少や物価高騰など厳しい環境の中においても、町民一人ひとりの暮らしを支え、将来にわたり持続可能な町を目指すため、町政運営の透明性を高め、対話を重視した行政を進めていく考えが示された。

3 物価高騰対策・生活支援

国の交付金等を活用し、ポイント還元事業やエアコン購入・設置補助など、町民生活の負担軽減と町内経済循環を意識した支援策を実施していることが説明された。今後も効果検証を行いながら、必要な支援を検討していく方針が示された。

4 まちづくりの基本的な考え方

人口減少を前提とした現実的な行政運営が不可欠であり、町民全体に一律の負担を求めるのではなく、地域や個人の状況に応じた関わり方を大切にしながら、協働によるまちづくりを進めていく考えが示された。

5 公共施設・行政運営の見直し

老朽化が進む公共施設については、財政状況を踏まえ、配置の見直しや集約化を検討していく必要があることが説明された。具体的な内容については、今後あらためて説明の機会を設

け、丁寧に進めていく方針が示された。

6 福祉・医療サービスの現状

医療機関や福祉サービス事業所の確保が年々難しくなっている現状について説明があり、町としても関係機関や民間事業者と連携し、必要なサービスが将来にわたり提供されるよう調整を行っていく姿勢が示された。

7 財政運営・産業支援

補助金や各種支援制度については、成果や事務負担の観点から見直しを進めていく考えが示された。また、ふるさと納税を重要な財源の一つとして位置づけ、地域課題の解決につながる活用を進めていく方向性が説明された。

8 人材確保・教育分野の取組

行政・福祉分野における人材確保の課題や、外国人就労者とその家族への対応の必要性について説明があった。学校の統廃合については、教育環境の充実を目的に検討を進めていることが説明された。

【会場別意見・質疑応答】

9 口羽地区

- 公民館体育館の照明設備について、老朽化により暗さや安全面への不安があるとの意見が出された。特に夜間利用時の事故防止や省エネルギー化の観点から、LED化を求める声があった。町からは、全町的な施設更新計画に基づき、優先度を整理しながら順次更新していく考えが示された。
- 高齢化の進行により、自治会活動や行事運営の担い手確保が年々難しくなっているとの声があり、役員負担の軽減や活動の簡素化について行政の理解を求める意見が出された。町からは、地域の実情を踏まえた支援のあり方を検討していく姿勢が示された。
- 町道や生活道路の維持管理について、人手不足により草刈り等が困難になっているとの指摘があり、町からは、可能な範囲で計画的な対応を続けていく考えが示された。

10 阿須那地区

- 集落内道路や水路など生活インフラの維持管理について、高齢化により地域での対応が

限界に近づいているとの意見が出された。町からは、地域の実情を把握しながら、維持管理の在り方について協議を進めていく考えが示された。

- 空き家の増加に対する不安が示され、倒壊や景観悪化への懸念から、管理体制の強化や利活用促進を求める声があった。町からは、空き家対策事業を活用し、所有者への働きかけを進めていく方針が示された。
- 冬季の生活環境について、除雪体制や安全確保を求める意見があり、町からは現行体制の中で対応していく考えが説明された。

1 1 高原地区

- 公共交通の利便性について、高齢者の通院や買い物時の移動手段確保が課題であるとの意見が出された。町からは、既存の交通施策の利用状況を踏まえ、改善の可能性を検討していく考えが示された。
- 地域行事や集会の継続が難しくなっているとの声があり、町からは、無理のない形での地域活動継続を支援していきたいとの考えが示された。
- 防災情報の伝達方法について、分かりやすい周知を求める意見が出された。

1 2 布施地区

- 空き家対策と移住促進を一体的に進めてほしいとの意見があり、地域としても受け入れに協力したいとの声があった。町からは、空き家バンク等を活用しながら取組を進めていく考えが示された。
- 集落行事の見直しや簡素化について、行政の理解と後押しを求める意見が出された。
- 鳥獣被害対策について、被害の深刻化を踏まえ、より実効性のある対応を望む声があった。

1 3 出羽地区

- 農業の担い手不足や耕作放棄地の増加について、将来への強い不安が示された。町からは、国や県の制度も活用しながら支援策を検討していく考えが説明された。
- 鳥獣被害対策について、捕獲体制の強化や情報共有の充実を求める意見が出された。

- 地域コミュニティの維持について、若い世代の参画を促す工夫が必要との意見があった。

1 4 田所地区

- 公民館を中心とした地域活動を継続するため、施設機能の維持や改修を求める意見が出された。町からは、計画的に施設整備を進めていく考えが示された。
- 行政情報が分かりにくいとの指摘があり、説明会や広報の充実を求める声があった。
- 公共施設の集約や見直しに対する不安の声があり、丁寧な説明を求める意見が出された。

1 5 市木地区

- 生活道路の安全確保について、通学路や狭隘^{きょうがい}道路の整備を求める意見が出された。
- 高齢者の見守り体制について、地域と行政の連携強化を求める声があった。
- 地域防災に関し、訓練や情報提供の充実を求める意見が出された。

1 6 井原地区

- 公共施設の再編により、地域の拠点機能が失われるのではないかと懸念が示された。町からは、利便性と持続可能性の両立を図りながら検討していく考えが説明された。
- 若い世代の定住促進に向け、雇用創出や住宅施策の充実を求める意見が出された。
- 地域内交通の確保について課題が示された。

1 7 中野地区

- 高齢者の移動手段確保について、日常生活への影響を懸念する声が出された。町からは、現行施策の活用状況を踏まえ、改善を検討していく考えが示された。
- 防災面での情報共有や避難体制について、不安の声があり、町からは周知の強化を進めていく考えが説明された。
- 空き家の管理や利活用について意見が出された。

18 矢上地区

- 医療体制の将来について、身近な医療を維持してほしいとの強い要望が出された。町からは、関係機関と連携しながら体制維持に努める姿勢が示された。
- 高校を核とした人材育成や地域活性化への期待が述べられた。
- 若者が地域に残れる環境づくりを求める意見があった。

19 日貫地区

- 物価高騰が家計に与える影響について切実な声があり、継続的な生活支援を求める意見が出された。町からは、国の動向を踏まえながら対応を検討していく考えが示された。
- 公共料金や負担増への不安の声があり、町からは丁寧な説明を行っていく姿勢が示された。
- 町の将来像を分かりやすく示してほしいとの要望が出された。

20 日和地区

- クマをはじめとする有害鳥獣の出没が増加しており、通学や農作業時の安全確保に対する不安が示された。町からは、猟友会や県と連携した対応、注意喚起の強化を行っていることが説明された。
- 補助金制度の見直しについて、地域活動への影響を懸念する意見があり、町からは限られた財源の中で公平性と効果を重視しながら整理していく方針が示された。
- 行政と地域との対話を今後も継続してほしいとの意見が出された。



No. 1

町政座談会_阿須那. jpg



No. 2

町政座談会_口羽2. jpg



No. 3

町政座談会_高原2. jpg



No. 4
町政座談会_出羽2. jpg



No. 5
町政座談会_田所. jpg



No. 6
町政座談会_布施2. jpg



No. 7

町政座談会_井原2. jpg



No. 8

町政座談会_日和. jpg



No. 9

町政座談会_矢上2. jpg
